

AAS「こだわり便」における過去問題解答例の取り扱いについて

【重要】 AASでは、各年度、「2種類」の解答例を作成しています。

< 1種類目の解答例 >

- ・ **コンセプト**
「設問文と与件文」をべたべたに活用した解答例を提示する事
- ・ **提供方法**
無料ダウンロード：AASのHPから解答例をダウンロード出来ます。
有料販売：「なぜ、この解答例を作成したか？」を作成者自らが解説した内容をDVDに収録し「AASこだわり便」で有料発売しています。
- ・ **このような悩みをもっている受験生に活用してほしい**
設問文と与件文の関係がうまく整理できない方
与件文を活用した答案を作成することがうまくできない方
設問文から答案を構成する意味がいまひとつピンとこない方
- ・ **留意点**
与件活用の意味をしっかりと理解していないと、顕在化された表層的な現象面だけをとらえた答案として伝わってしまう危険性があります。
「潜在化」している問題点や課題を「顕在化」するのが、「診断助言に役割」である点をしっかりと理解し答案構成を行うことです。

< 2種類目の解答例 >

- ・ **コンセプト**
AASとして診断助言を実施した場合の解答例を作成しその解説を行う事
- ・ **提供方法**
無料ダウンロード：AASのHPから解答例をダウンロード出来ます。
有料販売：「AASのスーパーフレームワークで解く解答例集」として、解説集の冊子として「AASこだわり便」で有料発売しています。
- ・ **このような悩みをもっている受験生に活用してほしい**
診断士2次専門校であるAASの思考方法を習得したい方
AASのフレームワークを学習に取り入れたい方
- ・ **留意点**
AASとしての診断助言手法を提示しています。しかし、この手法で作成した解答例が、出題者が意図した絶対的な答案でもなく、当日合格者が作成した答案とも異なります。あくまでも1つの有用な手法である前提（スタンス）で活用することです。